



▲住まいの情報ネットワークコーナーでは、「未来の家」でニューメディア生活を体験



▶高度化した電子部品の数々



▲'85西日本エレクトロニクスショー会場入口



▲入場者は各システム説明を熱心に聞いていた



◀製造・接合装置の展示コーナー



▲ショーの性質上専門家の入場者が多く、実際に操作する人もいた

十一月一日から四日まで、八代市で開かれました。この催しは、政府の情報化月間事業の一環として、コンピュータの利用を中心に、生活の中の情報化を県民に理解してもらおうと開かれたもので、今年で三回目を迎え、熊本市以外では初めての開催です。

「明日の暮らしを体験」というテーマで、オフィスや家庭で使う情報関連機器を「ハード」と「ソフト」の両面から紹介したこのイベント、四日間で三万人が集まりました。会場につめかけた人は展示機器に触れたり、パネル・写真に見入るなどして近未来の情報化社会をそれぞれ確かめていました。

また、「85西日本エレクトロニクスショー」が、十一月十日、十三日の二日間、熊本市で開催されました。最近のめざましいエレクトロニクス技術の発達と用途の多様化に対応し、熊本の地域産業技術の振興をねらって開かれたものです。昨年まで、福岡市で開かれていたこのショー、第四回目を迎える今回、初めて福岡以外で開催されました。また、これまでのフェアと違って、分野を特定した、細やかな紹介となりました。生産の脳神経に当たる計測機器、制御機器、電子部品やマイクロコンピュータなどの応用事例も展示・実演され、各コーナーは、企業や商店からの来場者であふれました。

▶システムを見極めようと、真険にチェック



▲最新の計量測定機器が並びコーナー



◀情報が専門化されて利用されるビデオテックス

## 「孫の顔も見れるし、 こんなのであれば便利でしょうね。」

英訳・和訳も手軽に処理  
▼自動翻訳システム



山内新出納長 ▶  
のあいさつ



◀会場となった  
八代総合体育館

どんどん近くなる暮らしてコンピュータ。近未来の情報化社会を体感！

今、まさにコンピュータ時代、近代科学の粋を凝らした数々のコンピュータ関連機器が、私達の日常生活の中にはいり込んでいます。こうした時代を反映してか、県内各地で、コンピュータ機器の展示会が相次いでいます。

「まもと'85生活と情報化展」は

また、「85西日本エレクトロニクスショー」が、十一月十日、十三日の二日間、熊本市で開催されました。最近のめざましいエレクトロニクス技術の発達と用途の多様化に対応し、熊本の地域産業技術の振興をねらって開かれたものです。昨年まで、福岡市で開かれていたこのショー、第四回目を迎える今回、初めて福岡以外で開催されました。また、これまでのフェアと違って、分野を特定した、細やかな紹介となりました。生産の脳神経に当たる計測機器、制御機器、電子部品やマイクロコンピュータなどの応用事例も展示・実演され、各コーナーは、企業や商店からの来場者であふれました。

◀「話が見える、テレビ電話



▲映像と踊りで入場者を魅了させたダンシングマルチ



◀移動しながら用を済ませる自動車電話



▲ユーモラスな動きで人気を呼んだロボット酒場

◀知りたい情報をすぐ取り出せる熊本情報案内システム(KINGS)



▲にぎわったくまもと'85生活と情報化展会場風景



◀「八代市の観光、について語られたテレビ会議システムコーナー